

漁海況情報



沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話 098-852-4530・4531
FAX 098-852-4533

2013年(平成25年)7月 第488号

最新情報提供：沖縄県水産海洋技術センター
URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

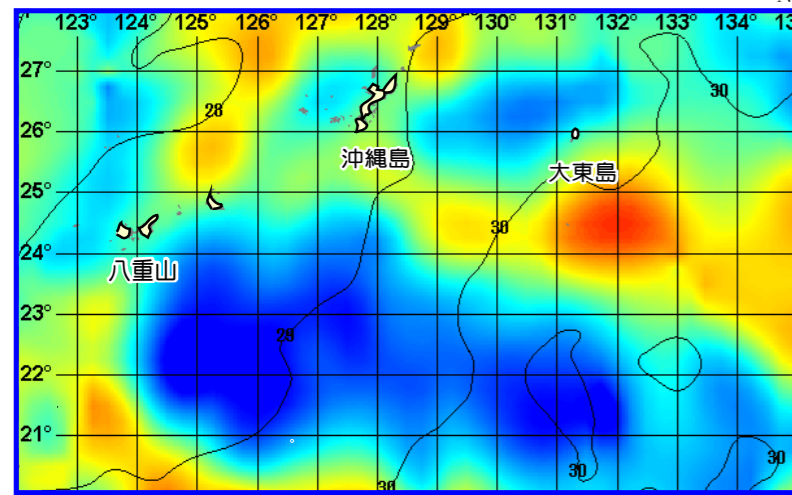


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2013年9月1日)

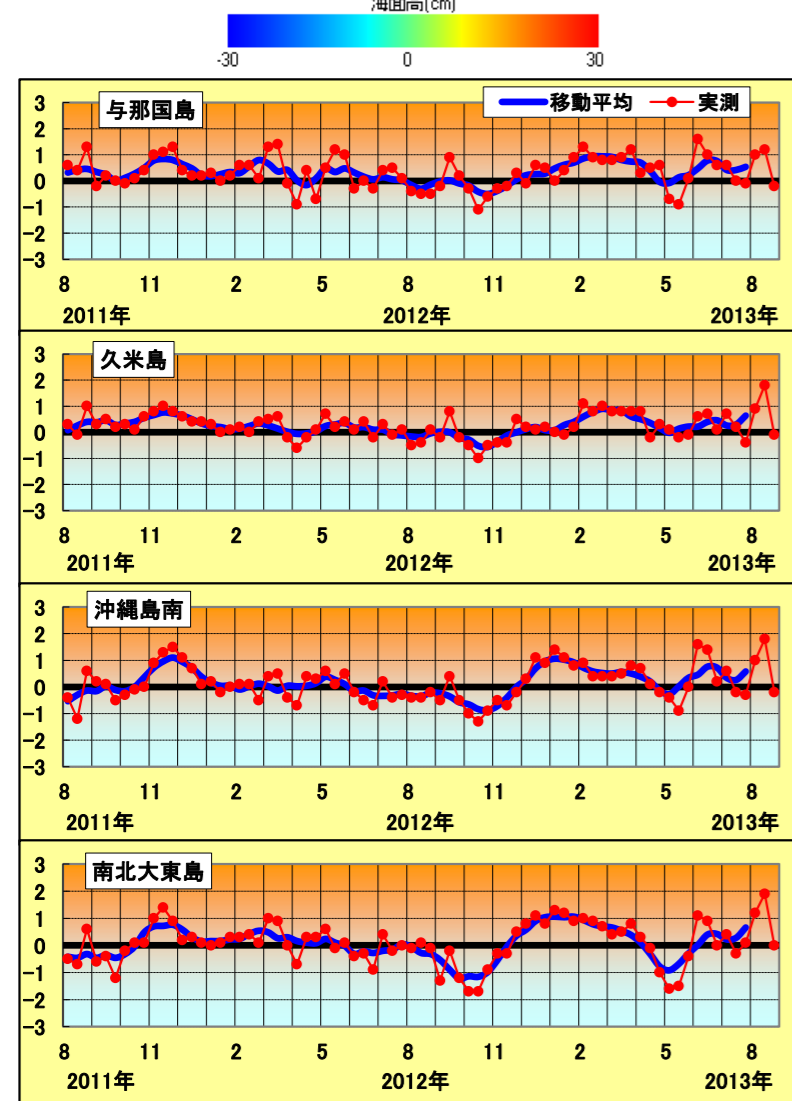


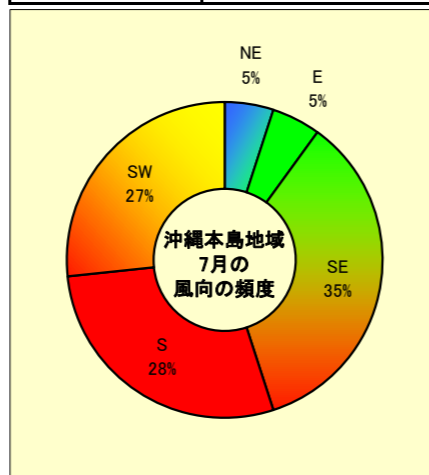
図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

水温：8月の水温は、中旬までは与那国島で高め(+1.0℃程度)その他では高めからかなり高め(+1.0~+1.5℃以上)で推移したが、台風12号の通過後は概ね平年並みからやや低め(±0.5~-0.5℃程度)となった。

今後1ヶ月の表面水温は、南北大東島海域でやや高めから高め(+0.5~+1.0℃程度)、その他では平年並みからやや高め(±0.5~-1.0℃程度)、で推移する見込み。
潮流：先月から引き続き、八重山諸島南方には低気圧性(反時計回り)の中規模渦に伴うかなり強い流れが発生している模様。

参考資料
沖縄周辺の日別海水温・潮流
気象庁：9月2日発表
海水温・海流1ヶ月予報
気象庁地球環境・海洋部：8月30日発表
沖縄県地方1か月予報
沖縄気象台：8月30日発表

8月下旬の表面水温平年偏差	
与那国	平年並み
久米島	平年並み
沖縄島南	平年並み
大東島	平年並み



漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、シビ、キハダ、伊良部ではカツオ、シビの水揚げが多かった。

表1 7月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.4
クコシキ	0.4	0.0	0.9	0.0	1.3	0.0	6.2
沖サワラ	0.4	0.1	0.1	0.1	0.7	0.1	1.6
カツオ	0.6	0.1	0.2	0.2	1.1	18.9	20.9
キハダ	8.3	0.4	1.7	1.0	11.3	3.5	25.9
シビ	10.4	5.0	0.6	9.0	24.9	13.8	41.8
メバチ	0.8	0.0	0.1	0.1	1.0	0.0	2.0
計	21.0	5.6	3.6	10.4	40.5	36.4	98.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

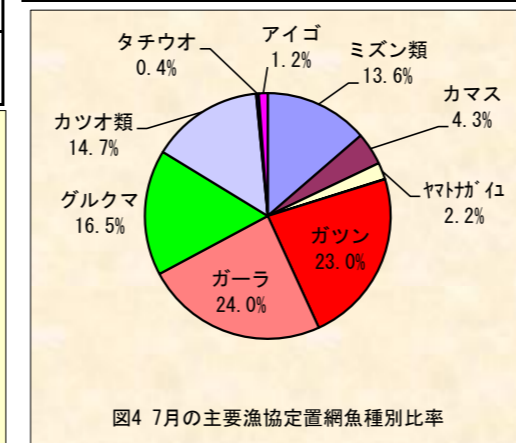
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6
2013年	10.3	11.3	-	-	-	21.6

表3 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4
2013年	12.1	24.9	-	-	-	37.1

表4 6~10月のシイラ漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7
2013年	2.9	0.2	-	-	-	3.1



定置網：7月の全体の漁獲状況は、6,443.9kgで先月(5,104.2kg)と比べて増加した。ガーラの漁獲が全体の24.0%、ガツンが23.0%、グルクマが16.5%を占めた(表5、図4)。



ハナフエダイ(びたろー)

糸満ではシビが10.4t、キハダが8.3t漁獲された。港川ではシビが5.0t漁獲された。知念ではキハダが1.7t、クコシキが0.9t、シビが0.6t漁獲された。沖縄市ではシビが9.0t漁獲された。伊良部ではカツオが18.9t、シビが13.8t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。
今年度のキハダの漁獲量を過去3年間と比較すると、2月期(50.6t)、3月期(47.6t)は最大であったが、4月期から7月期にかけては最小であった(図3)。また7月期のキハダの漁獲量は、11.3tで6月期(10.3t)と比べて1.0t増加した(表4)。

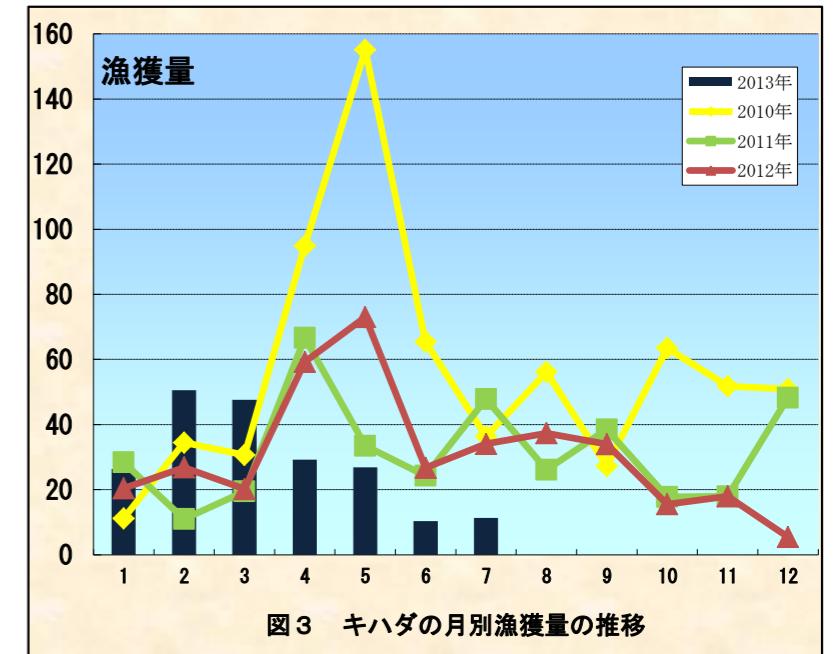


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 7月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	134.0	2.4	0.0	718.5	0.0	4.3	0.0	859.2
カマス	248.0	8.7	0.0	0.2	11.6	1.3	0.0	269.8
ヤマトガイ	128.9	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	138.2
ムロアジ	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
ガツン	1,377.2	43.4	0.0	26.4	0.0	0.7	0.0	1,447.7
ガーラ	1,013.5	417.7	0.0	20.6	44.7	14.6	0.0	1,511.1
グルクマ	675.6	247.3	0.0	3.3	0.0	115.5	0.0	1,041.7
カツオ類	853.2	21.7	0.0	53.4	0.0	0.0	0.0	928.3
タチウオ	1.4	18.0	0.0	0.0	2.3	0.8	0.0	22.5
アイゴ	0.0	0.5	0.0	7.9	8.7	56.6	0.0	73.7
合計	4,434.8	769.0	0.0	830.3	67.3	193.8	0.0	6,295.2

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。